

# フロアメンテナンス(汚染対策)

床材は、オフィス、学校、病院、工場等の床仕上材としてきわめて広範囲に使用されていますが、美しく仕上がった床材表面がある種の汚染物によって見苦しく汚染する場合があります。この現象は、物理的要因による汚染、化学的要因による汚染、物理的・化学的の両要因が複合して生じる汚染に分類できます。一度汚染してしまうと取り除くことが困難な要因も多くありますので、汚染させないように予防することが大切です。

## ビニル床材

汚染の種類	原因	汚染状態	対策
摩擦・キズによる汚染	外から持ち込まれた砂粒などにより、床材表面が摩耗し、傷付き、その凹凸部に汚染物質が付着します。		洗浄剤またはワックス剥離剤を用いて、ポリッシャーまたはブラシ等で汚れを取り除き、樹脂ワックスを塗布してください。強度な傷の場合は元通りに復帰することが困難となりますので、防塵マットなどを設置して外からの砂の持ち込みを防ぎ、日常のメンテナンスを十分に行ってください。
ヒールマーク汚染	ゴム製の靴のかかとで床材表面をこすった際にゴムの一部がこすり取られ、床材表面に付着し、汚染します。また付着したまま放置しておくとゴム汚染となります。		洗浄剤またはワックス剥離剤を用いて、ポリッシャーまたはブラシ等で取り除いてください。カーボンの混合が多かったり、加硫の不十分な鞋底に発生しやすい現象ですが、樹脂ワックスを塗布することにより軽減することができます。
化学薬品による汚染	化学薬品に浸されたり反応して、汚染を生じます。	 (濃硫酸による汚染)	薬品をこぼしたら、できる限りすみやかに除去してください。一度汚染しますと、除去は困難です。
染毛剤や医薬品(殺菌消毒薬・うがい薬)による汚染	染毛剤に含まれている染料や、ヨードを主成分とする殺菌消毒薬およびうがい薬が床材表面から浸透し、汚染を生じます。	 (染毛剤による汚染)	できる限りすみやかに除去してください。しかし、完全に汚染を除去することは不可能なので、このような薬剤を多用する場所では、濃い色の床材、柄物の床材を推奨します。
ゴム汚染	椅子、机、台車、脚立等の足がゴム製品の場合、含まれている成分(加硫助剤・老化防止剤・プロセス油)が床材表面に付着・浸透し、太陽光や蛍光灯の光によって発色して、褐色に汚染することがあります。靴のゴム底によるゴム汚染の場合は、動線状の汚染となります。		非汚染タイプのゴム製品に変更するか、ゴム製品以外の材質(ウレタン等)に変更してください。または机、脚立等の足には床材と接触しないよう、あて板などを敷いて保護してください。汚染した場合は、汚染部分の床材を張りかえる以外に方法はありません。
粘着テープによる汚染	施工時に床材を養生するために使用する粘着テープ(ガムテープ、布テープ等)によって、ゴム汚染と同様の汚染が生じることがあります。		アクリル樹脂系粘着剤のテープを使用してください。汚染した場合は、汚染部分の床材を張りかえる以外に方法はありません。